

Business Report

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

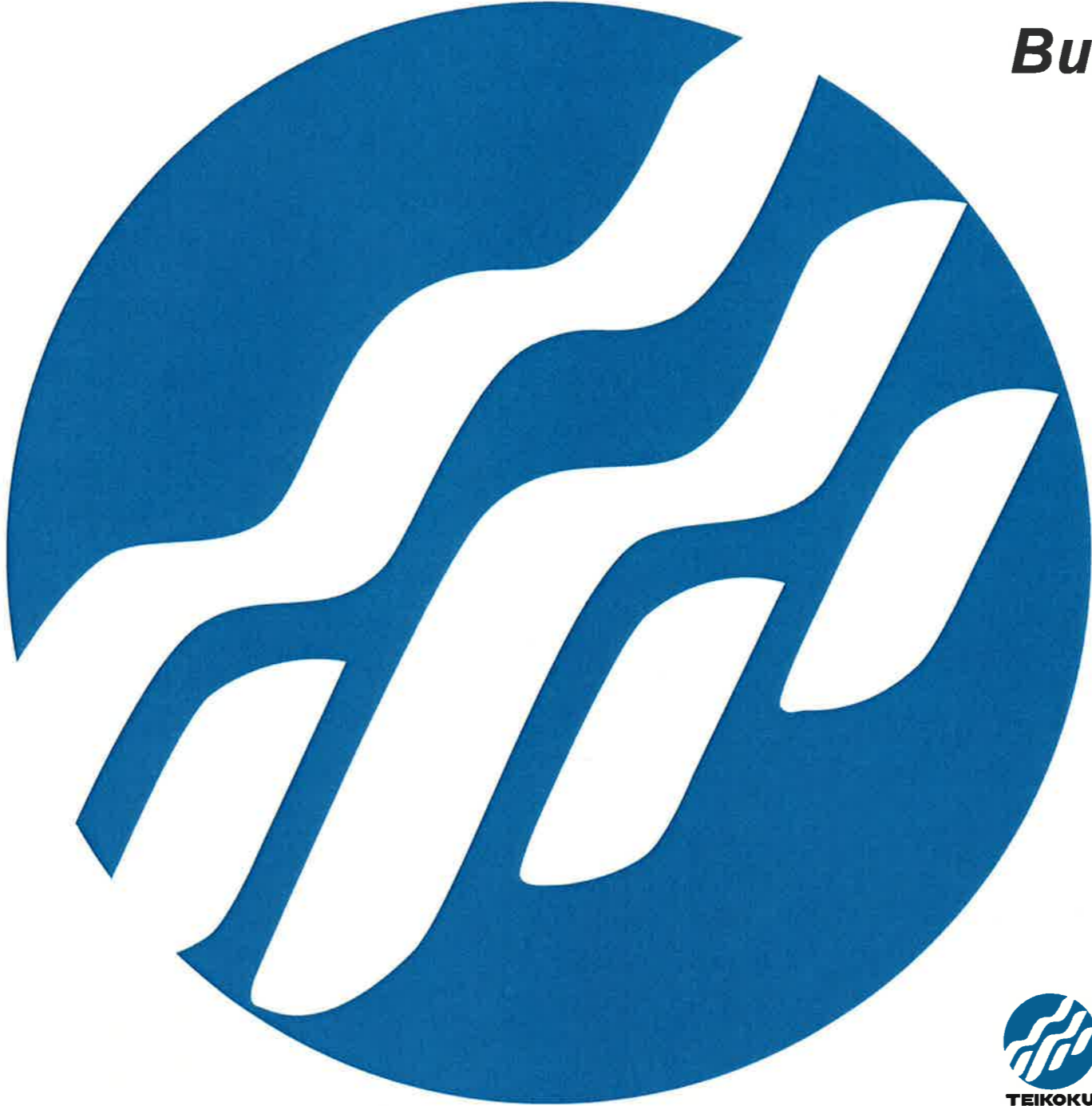
当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.teikokudenki.co.jp/>



株式会社 帝国電機製作所

〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
TEL 0791-75-0411



株主のみなさまへ

第105期 年次報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



株式会社 帝国電機製作所

当社の強み

- キャンドモータポンプで世界及び国内No.1のシェア
- 高い競争力を誇るテイコク独自のオンリーワンの技術力
- 石油化学プラント、JR新幹線や原子力発電所などに高い採用実績
- 超大型から小型、特殊仕様まで豊富なラインナップ

業績ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
16,227 百万円	1,826 百万円	1,708 百万円	867 百万円	91.93 円
4.4% DOWN	3.6% DOWN	4.1% DOWN	16.5% DOWN	111.72円 (前期)

厳しい経済環境の中、「不撓不屈」をスローガンに業績の早期回復を目指します。

当連結会計年度における世界経済は、上期は比較的堅調に推移しましたが、下期以降、米国の大手金融機関の破綻に端を発した世界的な金融市場の混乱が、急激なスピードで全世界の実体経済へ深刻な影響を及ぼし、世界同時不況の様相が強まってまいりました。また、わが国経済においても、企業収益の悪化により、設備投資抑制、雇用情勢の悪化など深刻な景気後退局面となっております。

このような状況の中で、当社グループ（当社及び連結子会社）は「一意専心」をスローガンに、単体での受注105億円を目標に、従業員一同一致団結して取り組んでまいりました。また、当社グループの目標とする経営指標の一つである海外売上高比率50%以上達成のために、前連結会計年度に引き続き積極的な海外戦略を展開し、北米でのキャンドモータポンプ市場の拡大を目指した米国子会社TEIKOKU USA INC.の営業力強化、中国子会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の営業力強化・サービス体制の拡充を推進し、またBRICsをはじめとした新興市場への販路拡大等を推進してまいりました。

また一方、国内においてはユーザーとの継続的な信頼関係の強化に努め、市場及び顧客ニーズを収集した提案型営業を展開するとともに、原価低減、技術開発、品質向上、生産性向上、サービス体制拡充等経営体質の強化に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、主力のポンプ事業が上期については国内市場・海外市場とも堅調に推移したものの、下期以降は世界経済の急激な悪化の影響を受け、また、電子部品事業においても事業環境が急激に悪化したことから、売上高は



代表取締役社長 宮地國雄

162億27百万円（前連結会計年度比7億48百万円減少、4.4%減）となりました。

利益面につきましては、特に下期における売上高減少や工場操業度低下に伴うコスト増に加え、円高・株安の影響等により、営業利益は18億26百万円（同68百万円減少、3.6%減）、経常利益は17億8百万円（同73百万円減少、4.1%減）、当期純利益は8億67百万円（同1億71百万円減少、16.5%減）となりました。

今後とも株主の皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

環境にやさしい技術で、 石油化学分野のトッププレイヤーへ。

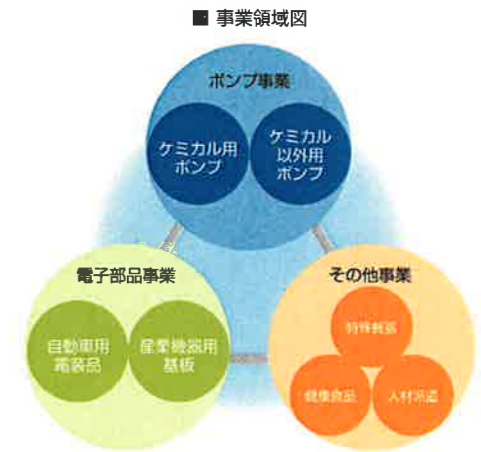
「不撓不屈」を、新年度の統一スローガンに。

上半期は計画どおりの売上で好調に推移したものの、下半期は世界的な景気減速の影響を受けて、予測を上回るスピードで受注が急速に落ち込みました。ところが、不振の国内事業に比べて、海外事業が健闘し、とりわけ経済状況の厳しいアメリカではシリコン精製プラントの大口受注等により堅調な業績を維持したほか、中国では過去最高の業績をマークしました。これらアメリカと中国2カ国の業績の伸びが国内の不振をカバーしてくれました。景気の先行きが不透明な新年度は、一言で言えば「忍耐の年」になると思います。「不撓不屈」を統一スローガンに、何があってもへこたれず、全社一丸となって乗り切るほかはありません。当面は、かくはん機やリアクター、定量ポンプ、マイクロバブルエアレータ等の今まであまり手をつけていなかった分野の売上を増やすことで、ポンプの落ち込みをカバーしていく方針です。景気には必ず波があり、次の飛躍のときに時機を逃さず、チャンスを的確に掴むために、必要な戦略、戦術を準備することが今最も大切だと考えます。

世界的な環境規制の強化を追い風に。

アメリカ市場では、現在、設立時からの代理店方式を改め、専属代理店と直営営業所の二本立てによる新たな販売戦略の見直しを進めています。また、ここに来てCO₂排出ガスの問題やVOC（揮発性有機化合物）排出規制など、環境規制が強化され、状況が一変しつつあります。今回のVOC規制では空気中に放出されたわずかの揮発化ガスも規制対象となることから、メカニカルシールポンプが市場の大半を占有する米国石油化学プラント市場についても、液が絶対に漏れないキャンドモータポンプを売り込む有利な状況が生まれつつあります。さらに、グリーン・ニューディール政策により注目を集める太陽光発電についても、使用される高純度ポリシリコンの精製プラントで、キャンドモータポンプに優位性があり、今後、継続的に需要が期待できます。

アメリカ特有の市場である冷凍機用アンモニアポンプも、キャンドモータポンプへの切り替えが進み、ほぼ独占できる状況までできています。そのほか、増設が計画される原子力発電所でも原子力関係の製造認証と実績を持つケミポンプ事業部をグループ内に持つ当社の優位性が



評価されるなど、アメリカ市場では中長期的にフォローの風が吹くと考えています。

中国をはじめ成長市場で 圧倒的なシェアを獲得。

海外戦略のもう一つの要となる中国市場では、大連に現地法人を設立してすでに14年。中国のGDPの伸びをはるかに上回る勢いで業績を伸ばしています。中国は今、広大な国土のあちこちで石油化学コンビナートをはじめ火力・原子力等の発電所や変電所、鉄道的高速化等、社会インフラ整備が急速に進んでいます。そして中国の石油化学業界におけるキャンドモータポンプの認知が進んでおり、現在では、キャンドモータポンプ市場の約7割（当社推計）のシェアを押さえるまでに至っています。中国は、世界同時不況下にあっても高い成長率を堅持しており、当期はさらに政府の景気刺激策によってインフ

環境規制を追い風に、業績の早期回復を目指します。

ラ投資を拡大しました。原発関係や鉄道車両用キャンドモータポンプ、電力関係についても変圧器用の油ポンプの需要が伸び、中国市場はまだまだ右肩上がりが期待できます。

また、いわゆるBRICs諸国の中でも今後大きな成長が期待されるロシア市場では、現地有力代理店との契約が完了し、ロシア国内への進出を本格化する計画です。インドでもすでに複数の代理店により営業を展開し

ています。また、TEIKOKU USA INC.を通じてブラジル等、中南米へ事業展開しており、石油化学、石油代替燃料等に大きな発展の可能性を秘めています。

完全無漏洩を武器に、エネルギー・環境分野を新しい事業の柱に。

キャンドモータポンプの一番の強みは、絶対に「漏れない」完全無漏洩性にあります。化学業界では、爆発や引火しやすい液や人体に有害な液を取り扱ったり、真空系での運転を要したり、あるいは高温や極低温、高圧力といった複雑で厳しい製造工程でものづくりに取り組むユーザーが少なくありません。当社は、キャンドモータポンプの専門メーカーとして、さらなる大容量、大出力、高温、高圧を求めるユーザーの声に応じて数々の製品を開発し、新しい技術に挑戦しています。

その成果の一つが、当期に開発した従来の3倍近いモータ出力を持つ超大型キャンドモータポンプです。大型機需要が多いアメリカ等を視野に、早くも新年度の売上の柱として大きな期待を寄せています。

一方、用途開発の面では、従来からある石油化学用途や、電力・鉄道の変圧器用途、冷凍機・空調機器用途、半導体製造プロセス関係に続く新しい分野として、太陽光発電の素材原料である高純度ポリシリコン等のエネルギー関係、代替燃料としての開発が進むバイオディーゼル、バイオエタノール関係、VOC規制に関わる揮発性有機化合物関係等に注目しています。

キャンドモータポンプの世界No.1から、さらに大きな市場へ。

当社は様々な産業分野の心臓部に欠かせないキャンドモータポンプのトップメーカーとして、現在、世界市場で約37%（当社推計）のシェアを獲得しています。しかし、ケミカルポンプ分野でのキャンドモータポンプは、まだまだ海外では主流ではありません。石油化学市場においては、競合するメカニカルシール方式等のポンプが、圧倒的なシェアを誇っています。当社が目指すべき本当の意味での市場はここにあります。今も多くの分野で使われている従来型のメカニカルシールポンプからの代替を進めていけば、膨大な市場が残

されています。加えて、環境規制が厳しくなるこれからの時代は、製造プロセスで有害な物質を漏らさない完全無漏洩のキャンドモータポンプの優位性が明らかになり、シェア拡大の好機といえます。

当社は、「みんなでよくなる」を社是に掲げ、この70年、お客様や社会のニーズに応える製品をつくり、何度も不況を乗り越えてきました。たゆまない技術開発の努力とお客様の支えで、この不況を乗り越え、これからも精進を重ねてまいります。



海外便り

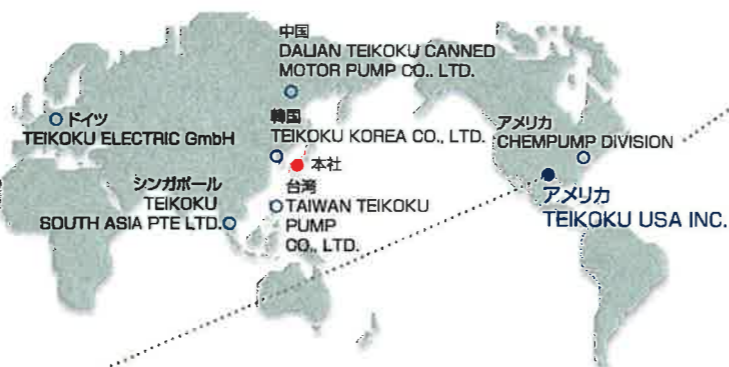
TEIKOKU USA INC. 北米・中米・南米をグローバルにネットワーク。

TEIKOKU USA INC. は、1991年11月に設立され、テキサス州ヒューストンに拠点を開設しました。2003年3月には、米国キャンドモータポンプ市場でNo.1のシェアを持つケミポンプを買収、リーディングメーカーとしての地位を確立しました。北米に直販、代理店を交えたネットワークを持ち、中米、南米にも代理店を持っています。2009年3月31日現在、資本金380万ドル、従業員72名です。



“石油化学と宇宙開発の街” アメリカ南部ヒューストン

ヒューストンは、市域人口220万人のテキサス州最大の都市です。1901年の油田発見により急速に発展しましたが、現在もエネルギー産業が主要な産業です。石油会社、エンジニアリング会社が集積しています。メキシコ湾岸沿いに多くの石油精製施設や石油化学工場があります。当社はこれらの施設や工場に多くのキャンドモータポンプを納入しています。ヒューストンの有名な観光スポットとしては、NASAスペ



ースセンターがあり、日本人宇宙飛行士もここで訓練を受けています。医療、運輸等の産業も発達しています。都心を中心に縦横に伸びる高速道路が、何層にも立体交差している様子は壮観であり、アメリカの車社会を示す典型的な都市と言えます。治安は、大都市でもあり良好とは言えませんが、物価は全般に安く、生活はし易いところです。日本のような明確な四季はなく、夏の蒸し暑さと日差しは強烈です。冬でも全般に暖かいですが、短期間暖房が必要になります。6月から11月は、一般的にハリケーンシーズンになります。昨年9月には、ハリケーンアイクがヒューストンを直撃し、甚大な被害を与えました。

ヒューストンは、スポーツの盛んな所であり、MLB、NFL、NBA、MLSの本拠地です。芸術面でも、音楽、演劇、美術の数多くのイベントを、年間を通して楽しむことができます。

食事は、ヒューストン固有の料理というものはありませんが、テキサスステーキ、テキサスバーベキューが有名です。隣国であるメキシコの料理店も数多くあります。



“独立と建国の地” アメリカ東部フィラデルフィア

ケミポンプは、TEIKOKU USA INC. のケミポンプ事業部として、ペンシルベニア州とウェストバージニア州に製造拠点をもっています。

ケミポンプは、1953年に世界で最初にキャンドモータポンプの販売を開始しました。約60年近い歴史があり、原子力用ポンプやアメリカ海軍向けポンプなど特殊用途のポンプにも対応しています。ペンシルベニア州の工場では、基本的に特殊ポンプなどを扱い、ウェストバージニア州の工場では、標準仕様のポンプの製造とメンテナンスを行っています。

ペンシルベニアの工場から車で1時間ほど走ると、アメリカ建国の地であるフィラデルフィアがあります。フィラデルフィアは、ちょうどニューヨークとワシントンD.C.の中間地点にある市域人口150万人の都市です。

1776年7月4日にフィラデルフィアで独立宣言が採択され、独立してから最初のアメリカ合衆国連邦政府の首都となりました。1787年にアメリカ合衆国憲法が制定されたのもこの地です。かつては、商業や海運の町として栄えましたが、現在は、情報産業やバイオ分野等への転身を遂げています。

また、名門ペンシルベニア大学やテンプル大学などがあり、学術都市としても知られています。芸術面においても、フィラデルフィア交響楽団や、映画ロッキーの舞台にもなった全米屈指の有名なフィラデルフィア美術館などがあります。

そして、MLB、NFL、NBA、NHLの本拠地でもあり、昨年は、MLBのフィラデルフィアフィリーズがワールドチャンピオンになるなど、ここ最近では好成績を残しています。ワールドシリーズの時、フィラデルフィアの工場では、フィリーズのTシャツやチームカラーである赤色の服を着て仕事をするなどフィリーズ一色になりました。

気候は、夏の暑さと冬の寒さが極端に続かないので、基本的に1年を通して過ごしやすいところです。

フィラデルフィア名物料理といえば、チーズステーキです。フランスパンに薄い牛肉、チーズ、みじん切りにしたタマネギを挟んだもので、あっさりしていて日本人の口にも合います。



TEIKOKU USA INC. は、キャンドモータポンプの認知度が低い北米で、販売拡大に注力し、順調に業績を伸ばしてきました。既述の用途の他に、食品業界向けの冷凍機用アンモニアポンプでは、圧倒的な市場シェアを持っています。またオバマ政権が進めようとしているグリーン・ニューディール政策に絡んだ太陽光発電向けポリシリコン製造用、バイオディーゼル用にも既に数多くのキャンドモータポンプを納入しています。建設が計画されている高速鉄道用も含め今後さらに期待が持てます。EPA（環境保護局）が、二酸化炭素等のグリーンハウスガス(温室効果ガス)を有害物質と認定したことを受け、温暖化対策の観点から上述した再生可能エネルギーの利用が確実に進むことが予想され、完全無漏洩のキャンドモータポンプの優位性が生かせる市場がさらに拡大することが期待されます。現在、アメリカは依然として大恐慌以来と言われる景気後退局面にありますが、キャンドモータポンプにとって有利な市場環境が到来しつつあるとの認識のもと、さらなる市場シェア拡大を図るべく、社員一同一丸となって努力していきます。

特集 ビルや工場、発電所、新幹線にも、当社の製品が活躍しています。

当社の製品は、設備や装置の動力部分に使われているため、一般に目に触れる機会はあまりないと思います。しかし、何気なく利用しているビルや交通機関、また、工場、発電所などにも、当社製品は幅広く活躍しており、快適で便利な暮らしや社会をしっかりと支えています。

新幹線

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ（車両用）」が使われています。

工場

石油化学、ファインケミカル、医薬、食品など、多様な分野の工場で、液状の原材料や製品の移送、ボイラーの熱媒循環、冷蔵設備の冷媒循環等に多種類の「キャンドモータポンプ」や「定量ポンプ」が使われています。また、液体の混合・かくはんや反応促進のために「かくはん機」が使われています。



工場・倉庫

工場や倉庫の天井クレーン等に「ブレーキモータ」が使われています。



大型放射光施設

大型放射光施設（SPRING-8）の加速器施設に「電磁石」が使われています。



ビル・大型施設

吸収式冷暖房機の冷媒液、吸収液の循環に「吸収式冷暖房機用キャンドモータポンプ」が使われています。



変電所

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ（地上用）」が使われています。



発電所

原子力発電所や火力発電所にもキャンドモータポンプが多用途に使われています。



オートガススタンド

LPGタクシー等にLPGを供給するオートガススタンドで「LPG機器モータポンプ」が使われています。

■ ポンプ事業

ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプが海外向けは堅調であったものの国内向けが減少し、また、冷凍機・空調機器モータポンプが国内外とも減少しました。ケミカル以外用モータポンプにおいては、電力関連機器モータポンプが国内外で堅調に推移し、定量注入機器ポンプが海外向けは堅調であったものの国内向けが減少しました。

その結果、売上高は135億2百万円（前連結会計年度比1億68百万円減少、1.2%減）、連結売上高に占める割合は83.2%となりました。

また、営業利益は、原価低減等による粗利率の改善等により、17億71百万円（同1億64百万円増加、10.2%増）となりました。



■ 電子部品事業

電子部品事業は、自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が昨秋以降の自動車産業減産の影響を大きく受け減少したため、売上高は22億55百万円（同4億27百万円減少、15.9%減）、連結売上高に占める割合は13.9%となりました。

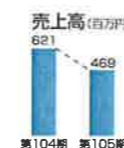
また、営業利益は、売上減とコスト増により、53百万円（同1億78百万円減少、77.0%減）となりました。



■ その他事業

その他事業は、昇降機等の特殊機器の売上が減少したことから、売上高は4億69百万円（同1億52百万円減少、24.5%減）、連結売上高に占める割合は2.9%となりました。

また、営業利益は売上減とコスト増により、1百万円（同54百万円減少、96.9%減）となりました。



超大型キャンドモータポンプ

今までキャンドモータポンプといえば、一部の特殊仕様のを除けば、出力200kw程度までというのが一般的でした。

このたび当社では、出力550kwの超大型キャンドモータポンプの開発に成功いたしました。

海外市場においては、日本国内の数倍規模のプラントが数多くあり、規模の利益や効率追求の面から超大型のキャンドモータポンプのニーズが石油業界や電力業界等で高まっております。このニーズに応えるために、超大型キャンドモータポンプを開発いたしました。

キャンドモータポンプの特徴が発揮される高温高圧仕様の分野で期待されています。



LCO₂用小型BLDCポンプ

「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」によりフロン類であるR12に代表される冷媒は1995年に生産中止、R22に代表されるオゾン層破壊の程度が比較的少ない冷媒も、消費量の段階的削減が設定されており、2020年には補充用を除き全廃される予定です。

このような状況の中、ノンフロン化、省エネ、オゾン層保護と地球温暖化防止のため、フロン類から液化炭酸ガス（LCO₂）などの完全自然冷媒化が進んでいます。このニーズに応えるため、LCO₂用小型BLDCポンプを開発いたしました。用途としては、ショーケースなどの冷蔵システムへの採用が期待されています。

■ 連結貸借対照表

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,057,291	11,625,405
現金及び預金	1,990,733	2,554,781
受取手形及び売掛金	5,254,453	5,691,647
製品	808,729	718,010
仕掛品	1,206,571	995,852
原材料及び貯蔵品	1,261,483	1,196,585
繰延税金資産	332,292	351,741
その他	328,935	240,579
貸倒引当金	△125,908	△123,792
固定資産	6,598,419	5,678,871
有形固定資産	5,422,630	4,264,008
建物及び構築物	2,126,093	1,522,512
機械装置及び運搬具	1,104,932	1,097,556
土地	1,243,524	1,370,594
リース資産	3,505	—
建設仮勘定	821,538	158,850
その他	123,036	114,493
無形固定資産	18,282	12,965
その他	18,282	12,965
投資その他の資産	1,157,506	1,401,897
投資有価証券	707,080	1,142,374
長期貸付金	19,544	22,341
繰延税金資産	359,571	159,915
その他	103,430	108,866
貸倒引当金	△32,119	△31,600
資産合計	17,655,710	17,304,277

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,387,334	4,265,689
支払手形及び買掛金	1,792,156	1,887,596
短期借入金	958,031	669,409
1年内償還予定社債	—	40,000
1年内返済予定長期借入金	814	72,711
リース債務	774	—
未払法人税等	356,609	248,081
繰延税金負債	18,577	107,447
製品保証引当金	14,471	12,271
賞与引当金	381,727	449,198
役員賞与引当金	28,000	30,000
その他	836,171	748,975
固定負債	1,047,557	914,762
長期借入金	2,917	5,112
リース債務	2,905	—
繰延税金負債	349	349
退職給付引当金	799,865	775,657
役員退職慰労引当金	76,896	58,596
その他	164,623	75,045
負債合計	5,434,891	5,180,451
(純資産の部)		
株主資本	12,508,294	11,829,397
資本金	2,116,823	2,116,823
資本剰余金	1,904,614	1,904,614
利益剰余金	8,495,884	7,816,903
自己株式	△9,028	△8,943
評価・換算差額等	△287,474	294,428
その他有価証券評価差額金	△59,129	149,597
為替換算調整勘定	△228,344	144,831
純資産合計	12,220,819	12,123,825
負債及び純資産合計	17,655,710	17,304,277

■ 連結損益計算書

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
売上高	16,227,792	16,976,086
売上原価	10,319,428	10,953,295
売上総利益	5,908,364	6,022,791
販売費及び一般管理費	4,081,941	4,127,802
営業利益	1,826,422	1,894,988
営業外収益	110,595	134,176
営業外費用	228,033	246,614
経常利益	1,708,984	1,782,550
特別利益	2,593	74,618
特別損失	323,131	38,737
税金等調整前当期純利益	1,388,446	1,818,431
法人税、住民税及び事業税	647,519	674,873
法人税等調整額	△126,850	104,712
当期純利益	867,777	1,038,844

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,436,836	746,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,919,320	△1,146,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,848	1,424,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	△204,307	△85,203
現金及び現金同等物の増減額	△622,942	939,695
現金及び現金同等物の期首残高	2,521,947	1,582,252
現金及び現金同等物の期末残高	1,899,004	2,521,947

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書

当期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日 残高	2,116,823	1,904,614	7,816,903	△8,943	11,829,397	149,597	144,831	294,428	12,123,825
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△188,796		△188,796			—	△188,796
当期純利益			867,777		867,777			—	867,777
自己株式の取得				△84	△84			—	△84
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	△208,726	△373,176	△581,903	△581,903
連結会計年度中の変動額合計	—	—	678,981	△84	678,897	△208,726	△373,176	△581,903	96,994
平成21年3月31日 残高	2,116,823	1,904,614	8,495,884	△9,028	12,508,294	△59,129	△228,344	△287,474	12,220,819

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 貸借対照表

科目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,779,439	8,688,331
現金及び預金	1,180,732	1,554,683
受取手形	527,589	678,199
売掛金	3,422,258	3,604,175
製品	283,225	245,894
仕掛品	397,771	385,815
原材料及び貯蔵品	1,154,259	1,092,389
前払費用	12,022	13,539
繰延税金資産	223,459	245,227
関係会社短期貸付金	317,183	662,205
未収入金	255,763	164,132
その他の貸倒引当金	84,909	42,966
貸倒引当金	△79,735	△900
固定資産	6,243,242	4,994,441
有形固定資産	2,580,179	2,419,520
建物	990,879	807,635
構築物	87,297	77,556
機械及び装置	587,035	502,362
車両運搬具	4,268	1,891
工具、器具及び備品	82,949	79,504
土地	767,199	894,270
リース資産	3,505	—
建設仮勘定	57,044	56,299
無形固定資産	12,817	6,629
ソフトウェア	8,662	2,475
電話加入権	4,154	4,154
投資その他の資産	3,650,244	2,568,291
投資有価証券	694,028	1,118,824
関係会社株式	518,756	562,756
出資金	530	4,655
関係会社出資金	773,657	773,657
従業員長期貸付金	18,656	20,527
関係会社長期貸付金	1,353,862	—
長期前払費用	4,893	5,307
保険積立金	11,477	9,814
会員権	43,400	43,400
繰延税金資産	266,998	63,575
その他の貸倒引当金	36,114	37,380
貸倒引当金	△72,129	△71,609
資産合計	14,022,682	13,682,772

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	2,421,304	2,383,966
支払手形	745,618	909,232
買掛金	263,426	333,277
短期借入金	480,000	300,000
1年内償還予定社債	—	40,000
1年内返済予定長期借入金	—	36,064
リース債務	774	—
未払金	170,098	217,464
未払費用	16,621	18,816
未払法人税等	246,329	—
前受金	7,847	11,774
預り金	96,822	146,020
製品保証引当金	14,471	12,271
賞与引当金	238,368	288,390
役員賞与引当金	28,000	30,000
その他の	112,927	40,655
固定負債	794,053	658,042
長期借入金	—	509
長期未払費用	146,009	60,601
リース債務	2,905	—
退職給付引当金	568,242	538,335
役員退職慰労引当金	76,896	58,596
負債合計	3,215,358	3,042,009
(純資産の部)		
株主資本	10,864,004	10,495,863
資本金	2,116,823	2,116,823
資本剰余金	1,904,614	1,904,614
資本準備金	1,904,614	1,904,614
利益剰余金	6,851,594	6,483,369
利益準備金	145,275	145,275
その他利益剰余金	6,706,319	6,338,093
固定資産圧縮積立金	198,314	203,286
別途積立金	5,011,000	4,711,000
繰越利益剰余金	1,497,004	1,423,807
自己株式	△9,028	△8,943
評価・換算差額等	△56,681	144,899
その他有価証券評価差額金	△56,681	144,899
純資産合計	10,807,323	10,640,763
負債及び純資産合計	14,022,682	13,682,772

■ 損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	9,041,562	9,432,696
売上原価	6,109,526	6,623,900
売上総利益	2,932,036	2,808,795
販売費及び一般管理費	2,194,145	2,123,115
営業利益	737,890	685,679
営業外収益	600,307	505,669
営業外費用	118,378	238,210
経常利益	1,219,818	953,138
特別利益	251	1,975
特別損失	357,366	36,046
税引前当期純利益	862,704	919,067
法人税、住民税及び事業税	349,556	189,457
法人税等調整額	△43,874	60,536
当期純利益	557,021	669,073

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書

当期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他利益剰余金			利益剰余金合計				
				資本準備金	固定資産圧縮積立金	別途積立金					
平成20年3月31日 残高	2,116,823	1,904,614	145,275	203,286	4,711,000	1,423,807	6,483,369	△8,943	10,495,863	144,899	10,640,763
事業年度中の変動額											
固定資産圧縮積立金の取崩				△4,971		4,971	—				
別途積立金の積立額					300,000	△300,000	—				
剰余金の配当						△188,796	△188,796		△188,796		△188,796
当期純利益						557,021	557,021		557,021		557,021
自己株式の取得							—	△84	△84		△84
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額 (純額)							—		—	△201,580	△201,580
事業年度中の変動額合計				△4,971	300,000	73,197	368,225	△84	368,140	△201,580	166,560
平成21年3月31日 残高	2,116,823	1,904,614	145,275	198,314	5,011,000	1,497,004	6,851,594	△9,028	10,864,004	△56,681	10,807,323

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主優待のご案内



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。弊社では、下記のとおり株主優待を実施しておりますので、ご案内申し上げます。なお、本年は「THINK ECOLOGY」をキーワードにした環境配慮型商品をオリジナルチョイスギフトの商品ラインナップに加えております。

■ 株主優待基準日：毎年3月31日

■ 内容

- 100株以上・・・1,000円相当の図書カード
- 500株以上・・・3,000円相当のカタログギフト
- 1,000株以上・・・5,000円相当のカタログギフト

図書カードにつきましては、株主総会決議通知に同封させていただきますが、カタログギフトにつきましては、7月上旬にカタログを発送させていただきます。

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

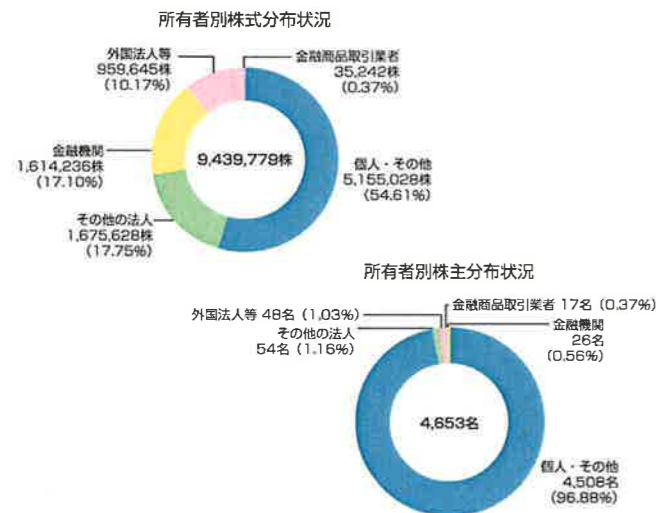
発行可能株式総数 34,600,000株
 発行済株式の総数 9,450,069株
 株主数 4,654名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
三菱電機株式会社	1,143,200株	12.11%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	373,600株	3.96%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	302,800株	3.21%
刈田耕太郎	288,922株	3.06%
徳永耕造	271,900株	2.88%
帝国電機製作所従業員持株会	241,662株	2.56%
帝国電機取引先持株会	225,100株	2.38%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	211,700株	2.24%
Cathrin Ott GmbH	211,344株	2.24%
Tina Ott GmbH	211,344株	2.24%

(注) 1. 出資比率は、自己株式(10,290株)を控除して算出しております。
 2. 比率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株式分布状況



会社概要 (平成21年3月31日現在)

社名 株式会社帝国電機製作所
 TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 設立 昭和14年 9月12日
 資本金 21億1,682万3,450円
 従業員数 連結1,184名 単体313名
 本社 〒679-4395
 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
 Tel. 0791-75-0411 (代表)
 ホームページ <http://www.teikokudenki.co.jp/>

役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長 宮 地 國 雄
 常務取締役 中 野 治
 常務取締役 柴 田 直 行
 取締役 高 橋 昇
 取締役 其 原 章 治
 取締役 中 村 嘉 治
 取締役 尾 上 喜 一 郎
 常勤監査役 刈 田 耕 太 郎
 常勤監査役 刈 尾 耕 蔵
 監査役 長 谷 川 克 博
 監査役 曾 我 巖

本社及び主な事業所

■本社及び新宮事業所
 〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
 TEL.(0791)75-0411(代) FAX.(0791)75-4317
 ■技術開発センター
 〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光巻3丁目29番2号
 TEL.(0791)58-0011(代) FAX.(0791)58-0012
 ■経理事業部
 〒110-0015 東京都台東区東上野5丁目2番5号(下谷ビル6階)
 TEL.(03)3841-9311(代) FAX.(03)3841-7334
 ■東京営業所
 〒110-0015 東京都台東区東上野5丁目2番5号(下谷ビル6階)
 TEL.(03)3841-9311(代) FAX.(03)3841-7332
 ■大阪営業所
 〒530-0057 大阪市北区豊崎2丁目1番12号(国道ビル6階)
 TEL.(06)6360-1171(代) FAX.(06)6315-5018
 ■西部営業所
 〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
 TEL.(0791)75-0412 FAX.(0791)75-4190
 ■名古屋営業所
 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1丁目28番19号(名南クリヤビル7階)
 TEL.(052)571-3691(代) FAX.(052)561-8097
 ■九州営業所
 〒802-0005 北九州市小倉北区駅前2丁目1番1号(丸美小倉駅前ビル9階)
 TEL.(093)531-4311(代) FAX.(093)531-4274
 ■千葉出張所
 〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目10番11号(アイビル2階)
 TEL.(043)222-5036 FAX.(043)222-5037
 ■静岡出張所
 〒417-0862 静岡県富士市石坂279-1(フジックスC-101)
 TEL.(0545)23-2700 FAX.(0545)23-2701
 ■北陸出張所
 〒918-8108 福井県福井市東3丁目1002-3(カルフロンハイムA-2)
 TEL.(0776)35-8330 FAX.(0776)35-8068
 ■東京サービス工場
 〒340-0004 埼玉県草加市弁天4丁目12番4号
 TEL.(048)931-7177 FAX.(048)938-1610



国内子会社

■株式会社技和電機製作所
 兵庫県豊父市大塚町夏栞12番地
 TEL.0796-69-0022 FAX.0796-69-1852
 ■株式会社帝神製作所
 兵庫県たつの市新宮町吉島440番地
 TEL.0791-75-0315 FAX.0791-75-0455
 ■株式会社平野電機製作所
 兵庫県豊後郡大子町瀬地745-1
 TEL.079-277-4094 FAX.0792-77-4023
 ■上月機械株式会社
 兵庫県たつの市新宮町光巻3丁目29番1号
 TEL.0791-58-3025 FAX.0791-58-2026
 ■株式会社帝和エンジニアリング
 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
 TEL.0791-75-4162 FAX.0791-75-0619

海外子会社

■TEIKOKU USA INC.
 7010 Empire Central Drive,Houston,
 TX 77040-3214
 TEL.+1-713-983-9901
 FAX.+1-713-983-9919
 ■大連裕園キャンドモータポンプ有限公司
 中国大連市大連二道街工美科技园
 TEL.+86-411-8626-9662
 FAX.+86-411-8626-9489
 ■台湾帝神ポンプ有限公司
 台湾台北市中山区錦州街5号9楼之1
 TEL.+886-2-2567-9800
 FAX.+886-2-2568-2670
 ■TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.
 No.15 Joo Koon Crescent,Singapore 629015
 TEL.+65-6861-4121 FAX.+65-6861-4521
 ■TEIKOKU ELECTRIC GmbH
 Nurnberger str. 24, D-40599,Dusseldorf,Germany
 TEL.+49-211-700-6778 FAX.+49-211-749-0011
 ■TEIKOKU KOREA CO.,LTD.
 3F Hannam Tower Annex Building II,#730 Hannam-dong,
 Yongsan-gu, Seoul Korea
 TEL.+82-2-790-7012 FAX.+82-2-790-7014

